

モラルサイエンス研究会（令和2年11月18日）発表要旨

道徳科学原典群に示されている「ケア」の思想  
— 『道徳科学の論文』を中心に—

廣池千九郎研究室  
主任研究員 宮下和大

道徳科学の学習・研究史における「ケア」に関する先行研究群を継承・発展させるべく、現在「ケアとモラロジー」共同研究において、ケアを中心テーマとするモラロジーの学びのコンテンツの試作を目指している。その必要不可欠な道程の一つとして、ケアをめぐる思想・言説・実践が道徳科学原典類にどのように記述されているかを整理し、本共同研究で考える「モラロジーの学びのコンテンツ」との接合点を整合的に説明・解釈しうる基盤を与えたいと考えている。

本発表では『道徳科学の論文』を中心に抜粋して発表し、研究会での意見交換をはかった。『道徳科学の論文』ほかの抜粋にあたっては、モラロジーの現代的展開を企図する『豊かな人生・学ぶ喜び』（1998）および『道経一体経営原論』（2019）を参照した。

発表後に得られた示唆として、共同研究における「ケア」の定義の必要性、昭和10年前後の道徳科学原典群の重要性が今後の課題として浮かび上がった。